



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月30日
上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社
コード番号 9014 URL <http://www.shinkeisei.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 孝悦
問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計資金担当課長 (氏名) 伊矢野 利郎 TEL 047-389-1125
四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,101	3.5	1,127	18.4	1,124	19.8	754	23.6
27年3月期第1四半期	4,931	△0.0	952	△5.7	938	△0.4	610	6.0

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 716百万円 (△23.7%) 27年3月期第1四半期 938百万円 (119.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.74	—
27年3月期第1四半期	11.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	74,007	34,041	46.0
27年3月期	74,316	33,490	45.1

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 34,041百万円 27年3月期 33,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	2.50	—	3.00	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,201	3.7	1,682	△2.3	1,596	△5.5	1,048	4.7	19.09
通期	20,306	2.7	3,056	0.5	3,163	1.4	2,153	15.5	39.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	55,116,142株	27年3月期	55,116,142株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	212,223株	27年3月期	211,582株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	54,904,080株	27年3月期1Q	54,909,920株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行の各種政策を背景に、雇用や所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制の更なる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化並びに効率化に努めました。

その結果、営業収益は5,101百万円(前年同期比3.5%増 170百万円)、営業利益は1,127百万円(前年同期比18.4%増 175百万円)、経常利益は1,124百万円(前年同期比19.8%増 185百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は754百万円(前年同期比23.6%増 144百万円)となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、踏切保安設備の新設・更新工事を行いましたほか、ロングレール化工事、高圧配電線ケーブル化工事、デジタルATS工事、土留擁壁補強工事をすすめました。また、旅客サービスにかかる向上策として自動改札機の更新工事を実施いたしました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、今後も引き続き早期完成を目指し工事をすすめてまいります。

営業面につきましては、沿線健康ハイキングを実施したのをはじめ、千葉ロッテマリーンズとのコラボレーションによるラッピング電車の運行を行いましたほか、行楽施設の前売り券や企画乗車券の販売を行いました。このほか当社線全線が開通して60年が経つことを記念してヘッドマーク電車を1編成限定で運行するとともに、記念乗車券を販売し旅客誘致と増収対策に努めました。

バス事業の一般乗合輸送につきましては、環境や高齢者などに配慮した車両への代替を4両実施いたしましたほか、船橋新京成バス株式会社が、始発の繰上げや終車の繰下げを行うなどのダイヤ改正を実施しました。

貸切輸送につきましては、船橋新京成バス株式会社で企業輸送を新規に受注するなど収益確保に取り組みました。

以上の結果、営業収益は4,063百万円(前年同期比1.7%増 68百万円)、営業利益は681百万円(前年同期比23.7%増 130百万円)となりました。

不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的にを行い物件稼働率の向上に努めましたほか、賃貸施設の保全工事を実施いたしました。

新規賃貸施設として、薬園台駅前ビルを住宅型有料老人ホームとして一括賃貸し、平成27年4月に開業いたしました。

以上の結果、営業収益は800百万円(前年同期比0.5%増 3百万円)、営業利益は425百万円(前年同期比7.5%増 29百万円)となりました。

その他

その他(コンビニ事業等)においては、コンビニ店舗を現在6駅7店舗営業し、ご利用のお客様よりご好評をいただいております。今後も新規出店の検討を含め、事業基盤の強化に努めてまいります。

以上の結果、営業収益は281百万円(前年同期比56.0%増 100百万円)、営業利益は13百万円(前年同期は営業損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の増加等がありましたものの、減価償却による有形固定資産の減少、売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ308百万円(前期比0.4%減)減少し、74,007百万円となりました。

負債は、前受金の増加等がありましたものの、未払金の減少等により前連結会計年度末に比べ859百万円(前期比2.1%減)減少し、39,966百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ551百万円(前期比1.6%増)増加し、34,041百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期の業績は概ね当初の計画どおり推移しており、平成27年4月28日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,026,333	4,327,782
売掛金	1,244,264	1,038,228
リース投資資産	872,840	870,477
商品及び製品	19,714	17,008
分譲土地建物	2,877,179	2,879,429
原材料及び貯蔵品	353,770	336,694
繰延税金資産	211,242	322,938
その他	171,888	173,984
流動資産合計	9,777,233	9,966,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,623,817	20,345,957
機械装置及び運搬具(純額)	4,848,948	4,743,378
土地	9,325,727	9,325,727
建設仮勘定	20,216,061	20,272,839
その他(純額)	387,780	353,146
有形固定資産合計	55,402,334	55,041,048
無形固定資産		
その他	432,395	403,727
無形固定資産合計	432,395	403,727
投資その他の資産		
投資有価証券	8,184,156	8,071,537
繰延税金資産	110,961	115,607
退職給付に係る資産	238,197	241,939
その他	170,867	167,149
投資その他の資産合計	8,704,183	8,596,234
固定資産合計	64,538,914	64,041,010
資産合計	74,316,147	74,007,554
負債の部		
流動負債		
買掛金	807,890	531,051
短期借入金	3,413,880	3,340,580
未払金	3,394,471	373,294
未払法人税等	420,148	495,455
前受金	15,445,437	17,733,247
賞与引当金	436,203	719,660
その他	2,668,332	2,861,070
流動負債合計	26,586,364	26,054,359
固定負債		
長期借入金	7,853,240	7,527,120
繰延税金負債	948,179	903,816
退職給付に係る負債	3,007,342	3,057,973
その他	2,430,732	2,422,972
固定負債合計	14,239,494	13,911,882
負債合計	40,825,858	39,966,241

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,519	4,774,519
利益剰余金	18,951,926	19,541,863
自己株式	△78,353	△78,621
株主資本合計	29,584,033	30,173,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,890,165	3,859,313
退職給付に係る調整累計額	16,090	8,296
その他の包括利益累計額合計	3,906,255	3,867,610
純資産合計	33,490,289	34,041,312
負債純資産合計	74,316,147	74,007,554

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業収益	4,931,404	5,101,681
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	3,666,156	3,701,160
販売費及び一般管理費	312,764	272,545
営業費合計	3,978,920	3,973,706
営業利益	952,484	1,127,974
営業外収益		
受取利息	21	32
受取配当金	35,596	30,319
車両売却益	4,593	19,558
その他	4,755	7,160
営業外収益合計	44,965	57,072
営業外費用		
支払利息	56,121	48,142
持分法による投資損失	2,359	11,733
その他	192	449
営業外費用合計	58,673	60,325
経常利益	938,776	1,124,721
特別利益		
工事負担金等受入額	8,701	21,012
特別利益合計	8,701	21,012
特別損失		
固定資産圧縮損	8,465	19,259
特別損失合計	8,465	19,259
税金等調整前四半期純利益	939,013	1,126,473
法人税、住民税及び事業税	449,371	495,585
法人税等調整額	△120,808	△123,761
法人税等合計	328,562	371,823
四半期純利益	610,450	754,650
親会社株主に帰属する四半期純利益	610,450	754,650

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	610,450	754,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	302,963	△23,144
退職給付に係る調整額	19,219	△7,793
持分法適用会社に対する持分相当額	5,877	△7,707
その他の包括利益合計	328,060	△38,645
四半期包括利益	938,511	716,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	938,511	716,005
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	3,989,925	783,167	4,773,093	158,311	4,931,404	—	4,931,404
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	4,720	12,984	17,704	21,849	39,554	△39,554	—
計	3,994,646	796,151	4,790,798	180,160	4,970,958	△39,554	4,931,404
セグメント利益 又は損失(△)	550,621	396,068	946,690	△996	945,693	6,790	952,484

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
あります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っており
ます。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	4,058,166	784,511	4,842,677	259,003	5,101,681	—	5,101,681
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	5,166	15,554	20,720	22,079	42,800	△42,800	—
計	4,063,332	800,065	4,863,398	281,083	5,144,481	△42,800	5,101,681
セグメント利益	681,357	425,958	1,107,315	13,721	1,121,037	6,937	1,127,974

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等
あります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。